

北海道全体map



散策メモ
大雪山国立公園は、旭岳、十勝岳、トムラウシ山など2,000m級の山々が連なる日本一広い山岳公園。中でも旭岳の姿は美しく、なんとも言えない感動がある。アイヌの人々はこの地を「カムイミタラ(神々の遊ぶ庭)」とよび、敬っていたという。夏の高山植物、9月中旬から始まる紅葉の時期がおすすめ。

海のブルーと半島の濃い緑が素晴らしい絶景を造っている。エゾカンゾウが咲く初夏～8月がおすすめ。

有珠山ロープウェイで山頂まで上がれば、洞爺湖や昭和新山を一望できる。今も噴煙を上げる有珠山火山口原を見る展望台や、外輪山トレッキングコースもある、おすすめ。

北海道唯一の藩、松前藩が置かれた城下町。アイヌとの争いや幕末の混乱など、激動の歴史を送っている。

日本最北端、たった43km先にサハリン(旧樺太)が見える。

桁違いの広大な敷地に、約200万本のひまわりが咲く。

固そうな氷を割りながらガガガと進む砕氷船がおすすめ。海が凍っている、なんとも不思議な感覚で自然と笑顔になる。気象状況にもよるが、流氷は毎年2月上旬頃接岸し、3月中頃まで見られる。

展望台から湿原や釧路川の蛇行具合を眺めたり、高山植物を見ながら散策したり、カヌーで湿原の奥まで行くこともできる。7～8月がおすすめ。

日高山脈が標高を下げ、岩礁となり太平洋へ続いている。壮大な自然のドラマを実感できる場所。えりも町は日本有数の強風地帯のため、「風のまち」とも呼ばれている。風を感じたいならここへ。

散策メモ
知床ネイチャークルーズは、1月下旬～3月中旬は流氷、ゴマフアザラシ、オオワシ、オジロワシを探しながらクルージングする。5月～10月はマッコウクジラやイルカ、シヤチなど、運が良ければ会える。

散策メモ
アイヌ民族は元々、北海道だけでなく、南樺太、カムチャッカ半島南部～千島列島、北方領土などに広く居住し、独自の文化を有し発展していたが、19世紀中頃から北海道開拓が始まり、日本やロシアに土地を奪われ、支配された。

散策メモ
 右記の東京都面積と比べると、いかに北海道が広大な大地がよくわかる。長距離ドライブにならないよう、うまく調節しよう。

